

# 竹取物語新聞

第234号 2025年11月29日  
発行:NPO法人森林ボランティア  
竹取物語の会

## 「奥ひらフェスタ2025」に参加

11月2日行われた「奥ひらフェスタ2025」は、聞きなれないイベントですが、3年前から「和幸カントリー」ベースに行われていたよう、「奥ひら（＝奥ひらかた）」を「楽しみアピール」する催しで我々が活動している穂谷地区を中心に「奥ひら」をまるごと楽しむ1dayフェスです。

こんな催しが行われていたことを知らなかった竹取の仲間ですが、会員の1人久保さんが世話役をされていたよう 「竹取の仲間」にも参加してほしいとお誘いがありました。今回は当会基地のある〔野外活動センター〕が初めて協賛地となったようで久保さんからの話でもあり参加すると事となりました。

「奥ひら」で、食べて、遊んで、楽しもう！のキャッチフレーズで「奥ひら（＝奥ひらかた）」に人を呼ぼうという催しです。枝豆、お芋の収穫、メンマ、ラーメン作り、クラフトビール試飲、コーヒー焙煎ジュースの試飲、焚火、天体観察など場所を変え盛り沢山な催しが計画されています。

「竹取物語の会」は「竹細工ワークショップ」の開催で参加しました。〔野活〕緑の広場で受付・物販を行い、基地で「竹間伐、ヒノキ材皮むき等」を設営しました。シャトルバスの運行も有り、大勢の参加者を見込んでいましたが、意外と〔野活〕への参加がありませんでした。

我がブースには、おそらく40名位の来訪があったと思われます。フェスの開催時間は午後8時まででしたが、我々竹取の会は午後2時で終了としました。竹炭販売11個3,300円、竹細工・木工作品の物販収入5,800円 計9,100円の収入が有りました。竹取基地では「竹間伐、ヒノキ材皮むき等」を設定し、参加者はそれぞれ4名、合計8名の参加者が力いっぱい楽しめました。

折角の機会なので、多数来られると思いいいろいろ準備しました。参加者の少なさが意外でした。竹取参加会員は11名。皆様ご苦労様でした。

(文 佐古 義則)



## 【スナップ報告】

① 10月26日



奥ひらフェス用資材づくり

燃材づくり

② 10月29日



クラフトづくり

西部竹林整備、同左竹材（竹とあそぼ用）運び

## 「竹となかよし」の活動を終えて

私たち森のようちえん「のいちご」は、2010年から、枚方市野外活動センターと高槻市の原を拠点として親子参加型の自然体験活動を行なっています。竹取物語さんには初年度からお世話になっており、毎年「竹となかよし」と題して、竹の伐採や竹の工作の体験をさせていただいています。今年度は11月5日に、幼児8名、大人8名で参加させていただきました。

伐採体験では、竹取物語さんのご指導を受けながら、子どもたち一人一人が順々に竹に鋸を入れていきました。ギギギーっと音を立てながら天にそびえていた竹がゆっくり倒れていく様を、子どもたちはじーっと見つめていました。竹の長さを感じた子もいたでしょう。竹の葉っぱが揺れる様を見た子もいるでしょう。竹の枝がどうやってついでいるのかを知った子もいたでしょう。ひとりひとりが胸に何かを感じ、その景色は原風景の一つになることだと思います。

伐採した竹を鋸で切って工作する体験もさせていただきました。鋸を体験するには、竹はもってこいの植物です。木よりもうんと切りやすいので、幼い子でも挑戦しやすく、達成感を得やすい。また、素材的に、鋸のひき方、角度、身体の使い方など、自分で感覚を掴んでいきやすいです。竹取物語の方から「歯が曲がってるぞ。真っ直ぐ引かなきゃ」と後ろから体を支えてもらい練習した子もいました。年少の頃はお母さんやお父さんと一緒にないと切れなかつた子どもも、年長になると一人で自信持って切れるようになります。毎年行なっている活動だからこそ、その成長が感じられます。

竹の魅力は、切って工作しやすいこと。今回は、化粧箱や、双眼鏡、楽器、ライトスタンドなど、個性豊かな作品

が出来上りました。ある子は、竹を伐採した時から、七夕のように葉がついた枝を持ち歩いており、それを使って工作したいと言っていました。望みを叶えさせてやりたいと願うお母さんは、子どもに「どんなふうにしたいの？」と尋ねながら一緒に考えていました。そして、「竹取物語さんに相談してみよう」ということになったのです。その方は、「それは無理やなあ」と言いながらも、ドリルで何度も穴を開けてくださり、とうとうその子が思う通りの形になりました。その時の子どもの嬉そうな顔！ 子どもたちの想いを形にするお手伝いをしていただいたことに、大変感謝しています。

私たちは、「自然を感じる。いのちを感じる」ということを大切にしています。竹林に生えている竹の姿には「いのち」が感じられます。ですから、竹の伐採から体験を始めさせていただけることは、とても貴重です。昨今、荒れ果てた竹林が多い中、竹取物語さんの竹林は美しく整備され、中にいて清々しい気持ちになります。それは、人が間伐して使うことで、人も竹林もWIN-WINの状態になれるということを表しています。今、子どもたちがそれを理解するのは難しいかもしれません、いつか大きくなつて荒れた竹林を見て、昔自分たちが活動させてもらった竹林の美しさを思い出し、竹と人の関わり方、自然と人の関わり方を考えることにつながってくれたらいいなあと願っています。

今年度も竹と触れ合える豊かな経験ができました。きっと皆、竹となかよくなつたことと思います。毎年このような貴重な体験をさせていただけることに、のいちご一同心から感謝しております。

森のようちえん「のいちご」代表 安平真由美



### 【スナップ報告】

11月2日 フリーデイ



## ボーイスカウト枚方第8団里山体験

11月23日、昨夜からの冷え込みが嘘のようなホカホカ陽気の快晴の中ボーイスカウト枚方第8団（児童21人・大人21人）里山体験が実施されました。代表の挨拶の後ラジオ体操で里山体験がスタートしました。3班に別れ竹林の中へ入り早々に鋸でゴリゴリと竹を倒し、皆で竹を作業場まで運び各自竹細工に取り組みました。貯金箱・ペン立て・花器等々、少し珍しい作品ではおみくじの竹筒等がありました。午後1時30分になり作業終了の号令が掛かりましたが中々作業が止まりませんでした。作った作品を両手一杯に持って帰路に就かれました。

（文 大林 良道）



### 【スナップ報告】

#### ● 11月9日 市民キャンプフェスティバル



#### ● 11月16日 ① 財産区竹林整備（野外活動センターフィールド内）



#### ② 浅尾さんヒノキ材で仕掛けクワガタづくり、燃材づくり



#### ● 11月19日 道路側溝整備



NPO 法人 竹取物語の会 令和 7 年 12 月 活動予定表

		活動予定	特別な活動など	担当・段取りなど
01	(月)			
02	(火)			
03	(水)	活動日	道路側溝整備、クラフト材料づくり	
04	(木)			
05	(金)			
06	(土)			
07	(日)	活動日	竹とあそぼ～ ミニ門松づくり&簡易竹炭焼き体験	(小雨実施)
08	(月)			
09	(火)			
10	(水)	活動日	基地竹林整備、クラフト材料づくり	
11	(木)			
12	(金)			
13	(土)			
14	(日)	活動日	道具・器具点検整備デー ボリ・金物等分別ゴミ整理デー 基地門松台座づくり	
15	(月)			
16	(火)			
17	(水)	活動日	竹林整備、 燃材づくり、クラフト材料づくり	
18	(木)			
19	(金)			
20	(土)			
21	(日)	活動日	道路側溝整備 基地玄関前門松飾り付け、倉庫整理 理事会	
22	(月)			
23	(火)			
24	(水)		12/24 (水) ~1/7 (水) 年末年始活動休み	

※ 1/11 (日) 三之宮神社参拝～安全祈願・せんざい振る舞い(三之宮神社駐車場9時30分集合)